

# 産業振興

## 市民・若者の雇用促進に一層の努力を

佐藤 充議員(共産) ①市内の失業者数と失業率は。また、若者の状況はどうか。

②こだいら就職情報室の利用状況と就職者数は。

③就職情報室を市役所内に移設して利用を促進できないか。また、雇用促進策についてはどのように考えているか。

④二一トの実態と対策は。

市長 ①具体的な数字等は把握していない。若者については、就業形態や就業意識の変化もあり、フリーターが生じやすい環境になっている。

②平成15年12月から本年7月までの相談人数は5千7百65人、就職人数は82人とのことである。

③市役所には情報室を移設する適切なスペースがない。市のレベルでできる雇用促進策は限られているが、情報室の一層の利便性向上を図るとともに、情報提供の場を充実したい。

④実態は把握していないが、

社会全体の課題なので、国の対策等を注視していきたい。

※二一トとは 就職も就学もしておらず、就職に向けた活動をしていない若者のこと。

## 小平市の都市農業の育成

桜田 誠議員(公明) ①市の都市農業基本構想の見直しについての見解は。

②練馬区で実施されている農業体験農園についての感想は。市で実施する考えは。

③農地と隣接した住宅地との間で生じているトラブル等の内容と市の対応は。

市長 ①市民の豊かな食生活と農のある快適なまちづくりという現在の目標を踏まえ、市民、農業者、農業関係団体及び市が一体となり、まちづくりの中に農業を積極的に位置づけていくための施策を検討する。

②農地が保全されるとともに、市民と農業者とのふれあいの場になっている。都市農業への理

解を深めるための有効な農業経営方法と認識しており、市としても開設に向けて取り組みたい。

③焼却による悪臭や煙害の苦



## ごみ減量はどこまで進んでいるか

苗村洋子議員(緑ネ) ①ごみ減量の目標値に対する実績値をどう評価するか。

②事業系ごみの排出量についての評価は。

③生ごみの資源化方法は。④環境省等が出した容器包装リサイクル法の見直しについての、中間まとめに対する評価は。

市長 ①ごみ処理基本計画の目標年度である平成24年度の排出物原単位目標値、1人1日850グラム以下に対して、平成16年度の実績は1人1日約868グラムで、順調に推移していると評価する。

②特に事業系単独での排出量目標値は設定していないが、拠点を絞って指導している。③市役所や市内小学校等で回収された生ごみ一次処理物を肥料会社が回収・製品化し、販売

# 環境・上下水

## 温暖化防止のために自然エネルギーの活用を

橋本久雄議員(緑ネ) ①市の事務事業に伴って排出される温室効果ガス削減目標値の達成状況は。

②エネルギービジョン策定のスケジュールは。③新エネルギー導入の見通しはどうか。

市長 ①ごみ処理基本計画の目標年度である平成24年度の排出物原単位目標値、1人1日850グラム以下に対して、平成16年度の実績は1人1日約868グラムで、順調に推移していると評価する。

②特に事業系単独での排出量目標値は設定していないが、拠点を絞って指導している。③市役所や市内小学校等で回収された生ごみ一次処理物を肥料会社が回収・製品化し、販売

直売所で新鮮な農産物を



# 公共施設

## 市の公共施設におけるアスベストの使用実態を問う

齊藤 進議員(フオ) ①緊急調査をした施設は。

②アスベストを含む建材が使用されている小・中学校はあるか。含有量1%以下の施設も含めて、すべてを取り除く必要があると考えるが対象施設は。

③以前、水道管の主流であったアスベスト管はまだ残っているか。

市長 ①平成8年以前に竣工し、アスベストを含む可能性がある材料を使用している施設である。

②第一小学校、第二小学校などで使用されている。今回の調査では1%を超えるものが対象のため、施設の特長はできない。

③石綿セメント管は積極的に取りかえ工事を行っているが、平成16年度末で給水管は2千3百43m、配水管は315m残っている。

## 小平市のアスベスト対策はどうなっているのか

鴨打喜久男議員(政和) ①昭和六十二、三年の国の通達でアスベストは適切に処理したことが対象施設は。

②昭和60年度までに竣工した

④太陽光発電助成制度を新設できないか。

市長 ①小平市環境基本計画の基本的施策の一つとして掲げたエコドライブ・オフイス計画では、平成18年度までに平成12年度を基準年度として6%削減を目標としているが、平成16年度は基準年度比で5.3%の増である。

②今後、市民、事業者、市の

3者で連絡会等を立ち上げ、平成20年度を目標として策定に取り組んでいく。

③今後のエネルギービジョン策定の中で、太陽光発電、太陽熱利用、風力発電など地域の特性を生かした自然エネルギー等の導入を位置づけていきたい。

④新エネルギー導入の中での課題としたい。

施設を本年7月に調査したが、その結果は。また、アスベスト含有量1%以上の場合の対策は。

③アスベストに対する正しい認識を、市民にどう啓発するか。

市長 ①第一小学校、第二小学校、仲町図書館等7施設である。

②福祉会館、庁舎等に1%を超えるアスベストが確認された。福祉会館等はアスベストの含有量が多いため除去する。庁舎階段等は含有量が少なく安定しているため、室内空気を測定し今後の対応を考える。

③国や都を参考に市独自のQ&Aを作成したり、ホームページにQ&Aを掲載して、市民相談に対応できるようにした。

## 国民的課題であるアスベスト対策は十分か

華表 暁議員(共産) ①公民館、図書館などにおける実態調査の結果は。

②小・中学校の校舎内、体育館などの実態調査の結果は。③何らかの因果関係が確認された場合の対応は。

④公民館エレベーター機械室の天井等に5%、庁舎階段の段裏に1.4%のアスベストが含まれていた。

⑤施設のうち、第一小学校機械室の天井に45%、第二小学校機械室の天井に41%、第十小学校多目的室の天井に1.1%含まれていた。

③今まで因果関係は確認されていないが、今後因果関係が確認された場合は、市民の健康被害に対する不安を解消するため、速やかに関係各課と調整を図るとともに、多摩小平保健所等と連携を進めていく。

## 市の公共施設のアスベスト対策

高橋 勇議員(民リ) ①アスベストとはどういう物質か。

②中皮腫という病気の原因とされているが、因果関係は。

③昭和62年ごろ社会問題となり対策が講じられていると聞くが、今回の調査では対象等に変化があったのか。

市長 ①溶岩が冷えて固まるうちに結晶が細長く成長して繊維状になった鉱物で、耐熱性、耐薬品性等の特性がある。

②中皮腫の発症にはアスベストが大きく関与していると認識している。

③前回は、昭和51年度以前、今回は平成8年度以前に完成した建物対象である。前回は第一小学校、仲町図書館等の7施設でアスベストを確認し除去した。今回は福祉会館、庁舎階段等の6施設で1%を超えるアスベストを確認した。

再び、中央公園グラウンドを市民が使いやすいものに

木村まゆみ議員(共産) ①競技場の改修工事と西側フェンスの設置費用は。

②競技場改修後、公式競技は開催されたか。



改修された中央公園グラウンド

③朝のラジオ体操でグラウンド内等を利用して人数は。

④市民が自発的に健康づくりのために集うことをどう評価しているか。

⑤ラジオ体操中にコンクリートの上で転倒し、けがをした人がいるが、市は把握しているか。

教育長 ①競技場四種公認取得にかかる改修工事の費用は約1千6百14万円で、フェンスの設置費用は約40万円である。

②平成16年8月に、東京都

## 再び、中央公園グラウンドを市民が使いやすいものに

原 邦彦議員(公明) ①次期長期総合計画の中で、仲町公民館の建てかえをどのように進めるのか。

②建てかえについては、図書館との一体的な建築計画が検討されていると考えるが、計画年度をできるだけ早めることはできないか。

③土地の確保についても、検討を進めているのか。

市長 ①老朽化している仲町図書館の建てかえとともに、新しい基本構想と並行して策定中の前期基本計画の中で対応が位置づけられる。なお、実施時期や事業費等については実施計画で示すことになる。

②平成18年度から検討に入る予定である。

③新たな土地の確保は考えていない。公民館と図書館の2つの施設・機能を現在のどちらかの敷地に一体化し、利便性や機能を高める。また、他方の用地を民間等に売却し、それを財源の一部に充てるという考えを基本にして事業を進めていく。

## 掲載分以外の質問項目

【環境・上下水】多摩地区水道経営改善基本計画によって小平市の水道はどのように変わるのか

町村総合体育大会が開催された。③約150人である。④健康の増進や地域交流にも効果があり、市民が自発的に継続して行うことはすばらしいことと考える。⑤ことしの初めに転倒した人はいが、コンクリートで滑ったのではないと聞いている。